

## 多読クラブ通信(2011年11月号)

### お知らせ

この夏に20冊ほど入った Quick Reads シリーズは、YLを1.8くらいで紹介しましたが、GRにとしては語彙制限がゆるく、難しい表現が含まれているため、YLを3.5まで引き上げます。

新規購入本のお知らせ:

ORT Song Birds ステージ4から6まで全18冊。  
CD付。 YL:0.4-0.6 あたりです。



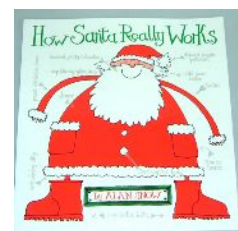
●Leaping Lion YL:3.2 総語数:11000

サバンナを舞台にした動物たちの物語。ライオンの子ども Brian が失敗したり、悩んだりする様子が描かれています。巻末にはお話に登場する動物の習性が説明されています。動物のイラストも多く、日常会話の表現もたくさん出てきます。



●How Santa Really Works YL:2.5 総語数:3900

サンタクロースを疑い始めた子どもたちにぜひ読んでもらいたい1冊。  
奥が深いです！大型絵本でレターパックには入りません。



Who was シリーズに7冊追加。計40冊になっています。

●Pablo Picasso YL:3.0 総語数:8500

●Maria Tallchief YL:3.0 総語数:8500

●Barack Obama YL:3.0 総語数:8500

●Amelia Earhart YL:3.0 総語数:8500

●Daniel Boone YL:3.0 総語数:8500

●George Washington YL:3.0 総語数:8500 ●Neil Armstrong YL:3.0 総語数:8500



この Who was シリーズは存命の方については Who is となっているわけですが、人類で始めて月面に降り立った Neil Armstrong さんについては、出版後にお亡くなりになったため Who is のままです。

Famous Five シリーズに4冊追加(現在、計10冊)

●Five Go to Smuggler's Top YL:4.5 総語数:46000

●Five Run Away Together YL:4.5 総語数:46000

●Five on Kirrin Island Again YL:4.5 総語数:42000

●Five Go Off to Camp YL:4.5 総語数:43000



ペンギン(PGR)のレベル2と3に10冊追加

●Babe Sheep-Pig YL:2.4 総語数:8100

●Subject 117 YL:2.4 総語数:6600

●Sweet Valley High Stolen Diary YL:2.4 総語数:6600

●Sweet Valley High Secrets YL:2.4 総語数:7100

●David Copperfield YL:3.5 総語数:23000

●Rogue Trader YL:3.2 総語数:13000

●Snow Goose YL:3.2 総語数:13000

●Murder on the Orient Express YL:4.5 総語数:19000

●Ring of Bright Water YL:3.2 総語数:9100

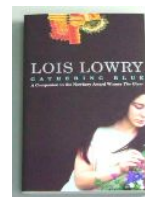
●Jane Eyre YL:3.2 総語数:13000



Lois Lowry の作品を2冊

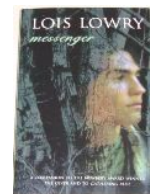
●Gathering Blue YL:5.6 総語数:48000

ニューベリー賞受賞作品「The Giver」からはじまる3部作の第2作。優秀な猟師だった父親が猟の際に動物に襲われて亡くなり、母親と二人で生活してきたキラ。しかし、その母も病気で亡くなり、独りぼっちになってしまう。しかし、彼女は織物の才能を見込まれて保護され、次第にその才能を進化させて行く。ある日、キラの友達が思いもかけぬ人を、キラの前に連れてきて、さまざまなことが明らかになる。



●Messenger YL:5.5 総語数:36600

第2作「Gathering Blue」で登場した少年 Matty が主人公。Matty の村は、他の場所で虐げられ、逃げ出してきた人々によって作り上げられた。そのため、皆が自然に助けあい、穏やかな暮らしを営んでいた。しかしある日、Matty は村の雰囲気が変わりはじめたことに気づく。また、自分自身の変化に動揺する。



Magic Tree House に最新2巻追加 43と44巻。

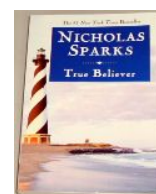
●Leprechaun in Late Winter YL:3.5 総語数:11000

●Ghost Tale for Christmas Time YL:3.5 総語数:12000



● True Believer YL:6.5 総語数:97800

Sparks の定番のラブストーリーだが、それにミステリーの要素を加えている。ある田舎町の墓地に幽霊が出るという噂を聞き、ニューヨーク在住の科学ジャーナリストが取材に訪れる。彼はそこで図書館員の女性と運命的な出会いを経験する。しかし彼女は彼を追ってニューヨークで生活するところまで踏み込めない。一方、幽霊の正体が明らかになってくる…。



Judy Moody シリーズの8冊目です。

●Judy Moody Goes to College YL:3.5 総語数:10300

Hank Zipzer シリーズの1冊目の読み上げCDです。

●Niagara Falls - CD-Audio 2枚組み

Hank Zipzer シリーズに7冊追加。(現在計17冊)

●Curtain Went Up, My Pants Fell Down YL:4.5 総語数:27300

●Barfing in the Backseat YL:4.5 総語数:24300

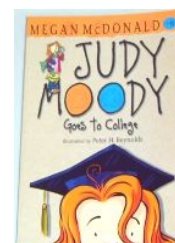
●Who Ordered This Baby YL:4.5 総語数:25500

●Life of Me YL:4.5 総語数:31000

●A Tale of Two Tails YL:4.5 総語数:25100

●Dump Trucks and Dogsleds YL:4.5 総語数:26900

●A Brand-new Me! YL:4.5 総語数:27300



久しぶりに多聴多読マガジンを購入しました。この10月号の特集「多読で身に付けるネイティブの語彙力」が気になったからです。ひとつ、発見というか、大きく頷いた点がありました。絵本系のレベルドリーダー(LR)とGRを「未知の語彙の頻出度」で比較した場合、I can Read のレベル1(YL:0.5 くらい)とOBWの2(YL:2.5 くらい)がだいたい同じである。。という点です。

絵本系は絵がヒントになり、語数が少ないのでYLが低めになっていますが、知らない単語、表現は多いですね。GRと同じものさし(YL)で測っていいのかなあと感じてきました。逸見

